

2004年第31週報告分

- 発生動向の概況
- 定点医療機関からのコメント
- 全数届出患者報告数
- 五類定点患者報告数
- 疾病別グラフ(五類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
ヘルパンギーナ
- 年齢階級別報告数
- 保健所別報告数
- 保健所別報告数(定点当たり)
- 感染症豆知識
ポリオの不活化ワクチン

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



(全数報告の疾患)

- ・コレラが1件報告された。菌型はO1エルトル小川型で、推定感染地はインドである。
- ・細菌性赤痢が1件報告された。フレキシネル菌で、推定感染地は国内である。
- ・パラチフスが1件報告された。推定感染地はバリ島である。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が18件報告された。血清型はO157が13件(VT2産生株7件、VT1 & VT2産生株6件)、O26が4件(いずれもVT1産生株)、不明1件(VT2産生株)である。O157VT1 & VT2産生株の2件は家族内発生である。O157VT2産生株の1件、O26VT1産生株の1件はそれぞれ30週報告患者の家族検便で判明している。
- ・E型肝炎が1件報告された。推定感染地はアフガニスタンで、推定感染経路は飲食等による経口感染であるが、詳細不明。
- ・レプトスピラ症が1件報告された。推定感染地はインドネシアで、推定感染経路は芝生からの経皮感染である。33歳男性で、発熱、頭痛、全身倦怠感を認め、分離培養によりレプトスピラが検出されている。
- ・アメーバ赤痢が3件報告された。推定感染地はいずれも国内で、推定感染経路は経口感染、同性間性的接触、不明各1件である。
- ・ウイルス性肝炎が1件報告された。B型肝炎で、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触である。
- ・HIV感染症が15件報告された。無症候性キャリア9件、AIDS6件で、推定感染経路は同性間性的接触4件、異性間性的接触6件、両性間性的接触1件、その他2件、不明2件である。
- ・ジアルジア症が2件報告された。推定感染地はフィリピン、インドで、推定感染経路はいずれも飲食等による経口感染である。
- ・梅毒が2件報告された。早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候梅毒1件で、いずれも推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触である。
- ・バンコマイシン耐性腸球菌感染症が1件報告された。88歳女性で、血液からvanC型が検出されている。

-
- ・30週において腸管出血性大腸菌感染症が1件追加報告された。血清型はO157で、VT2産生株である。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点報告の疾患)

- ・咽頭結膜熱は、例年同時期より多いものの引き続き減少している。ヘルパンギーナ、手足口病も減少している。

(検出された病原体)

- ・デング熱1名の血清からデングウイルス特異IgM抗体が検出された。
- ・無菌性髄膜炎1名の髄液からエコーウイルス30型の、別の無菌性髄膜炎患者の咽頭拭い液からコクサッキーウイルスA群の遺伝子がそれぞれ検出された。
- ・咽頭炎2名、咽頭結膜熱1名、急性咽頭炎・扁桃炎1名の咽頭拭い液からアデノウイルスの遺伝子が検出された。
- ・百日咳1名、不明熱2名の咽頭拭い液からもアデノウイルスの遺伝子が検出された。別の不明熱患者と発熱・肝機能障害患者およびEBウイルス感染患者各1名の咽頭拭い液からはEBウイルスの遺伝子が検出された。EBウイルス感染患者からはアデノウイルスの遺伝子も検出されている。
- ・ウイルス性胃腸炎集団発生1事例の患者検体20件からGⅡ型のノロウイルスが検出された。
- ・菌株で搬入された溶血性レンサ球菌1株のT型は25型であった。
- ・菌株で搬入されたMRSA4株のコアグラゼ型はⅡ型が3件、Ⅶ型が1件であった。
- ・性感染症定点等から搬入された血清等57件中16件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された頸管拭い液5件中1件からヒトパピローマウイルス遺伝子が検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された血清3件中1件から赤痢アメーバ特異抗体が検出された。

定点医療機関からのコメント

今週も定点医療機関からのコメントはありませんでした。

全数届出患者報告数 2004年 31週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		28週	29週	30週	31週	年累計	31週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ				1	5	2	39
	細菌性赤痢	1	1		1	66	9	270
	ジフテリア							
	腸チフス		1			9	1	35
	パラチフス				1	11	1	43
三類	腸管出血性大腸菌感染症	8	10	9	18	135	198	1668
四類	E型肝炎	1			1	2		(20)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1		18	(3)	(94)
	エキノコックス症							19
	黄熱							
	オウム病	1				2	1	30
	回帰熱							
	Q熱					1		5
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					5	1	96
	デング熱	1				7		9
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	21
	日本脳炎							1
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症								
発しんチフス								
ポツリヌス症								
マラリア		1	1		12		34	
野兔症								
ライム病						1	3	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1				10	1	75	
レプトスピラ症				1	2		(1)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	1	1	3	84	12	342
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			1	1	31	3	166
	急性脳炎					3		(38)
	クリプトスポリジウム症					5		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	2		10	5	93
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					5		38
	後天性免疫不全症候群	7	14	12	15	265	13	649
	ジアルジア症				2	14	3	48
	髄膜炎菌性髄膜炎					4		16
	先天性風しん症候群					3		5
	梅毒	2	1	2	2	39	6	283
	破傷風					1	1	55
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	4		32	

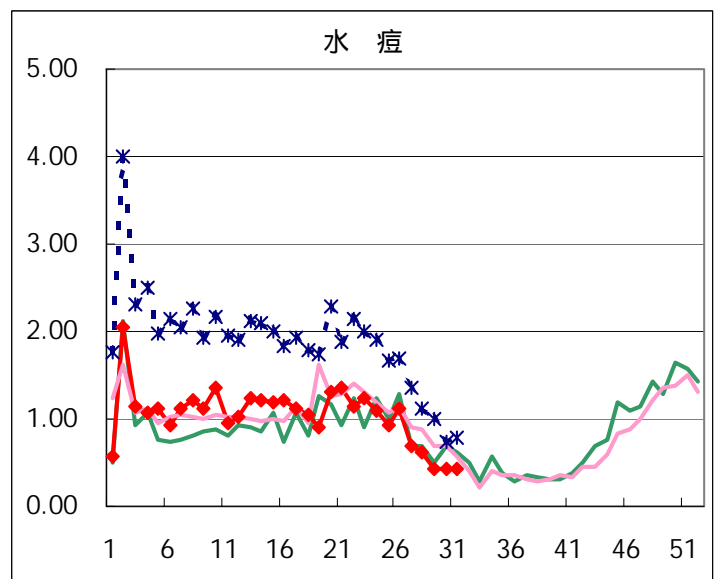
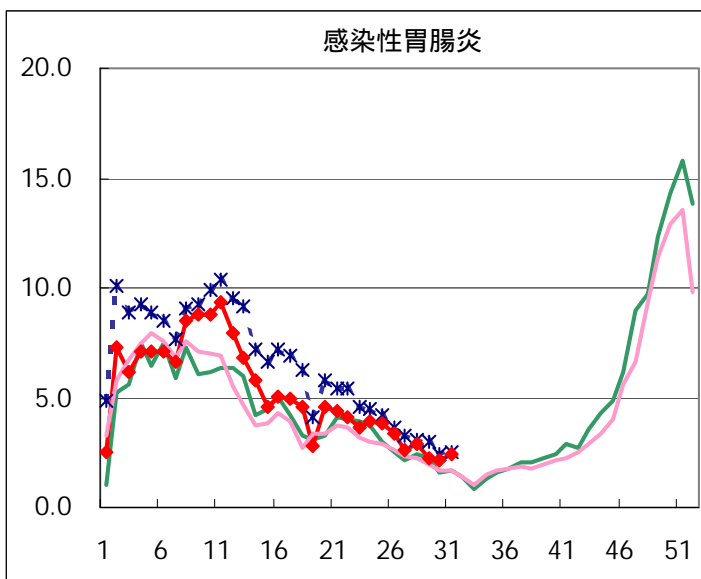
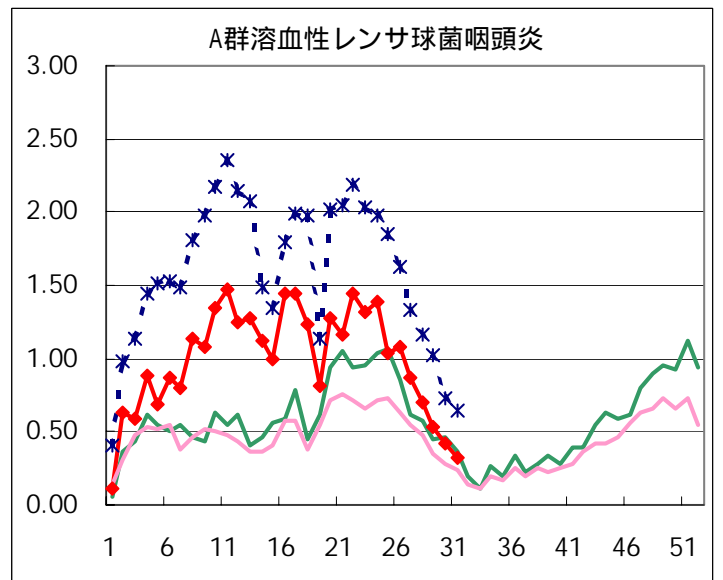
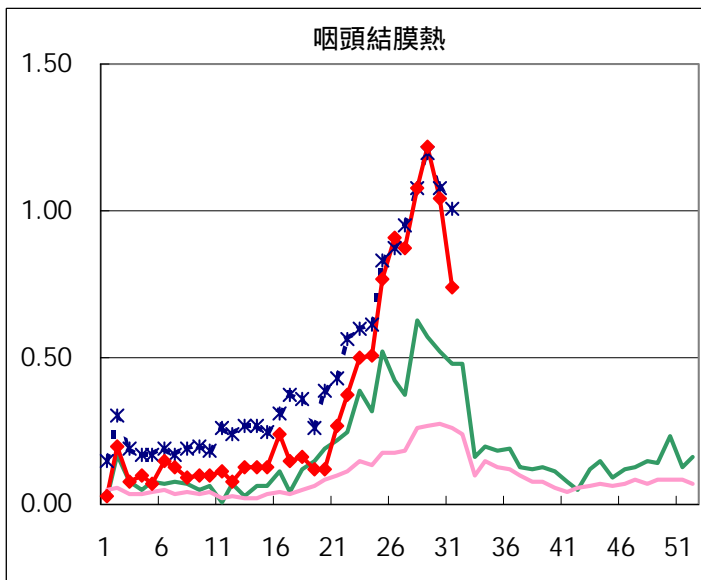
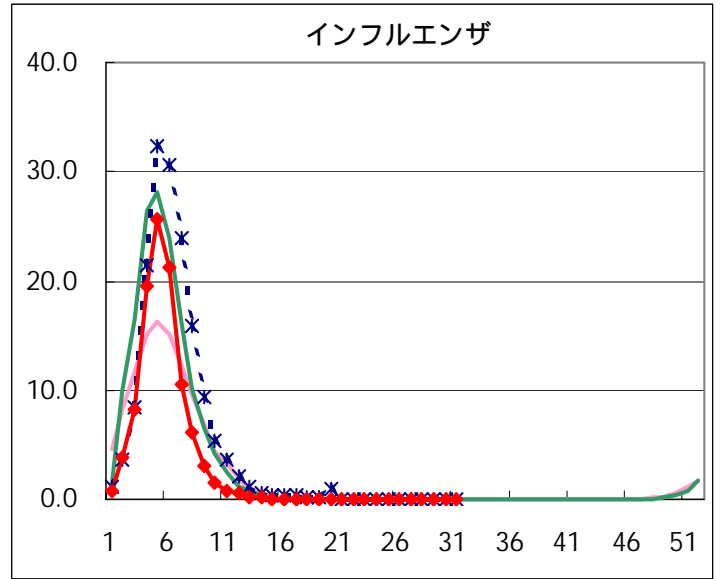
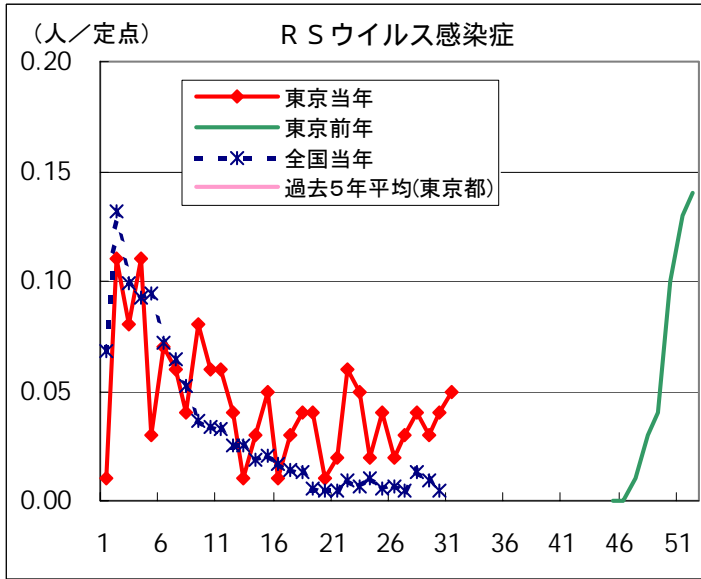
2004/8/10集計(カッコ内の数値は前週分である)。

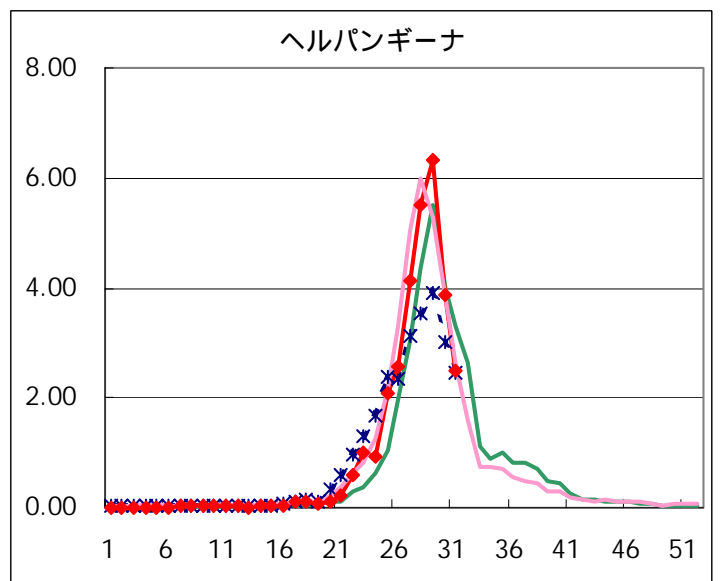
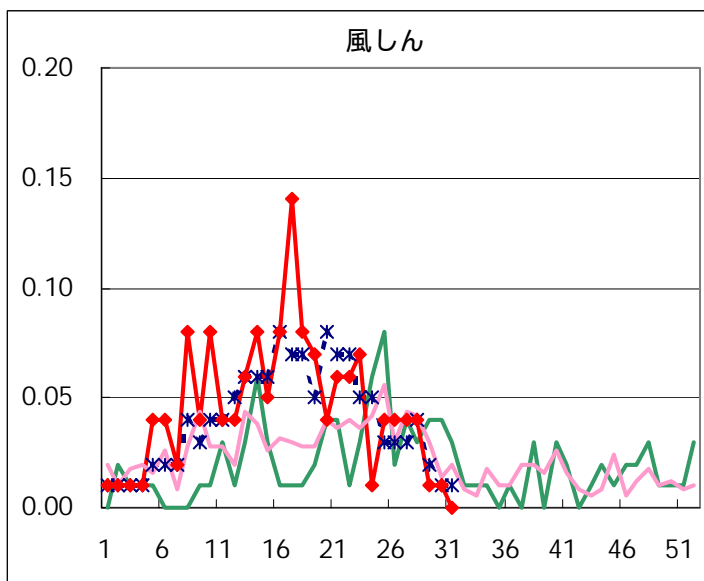
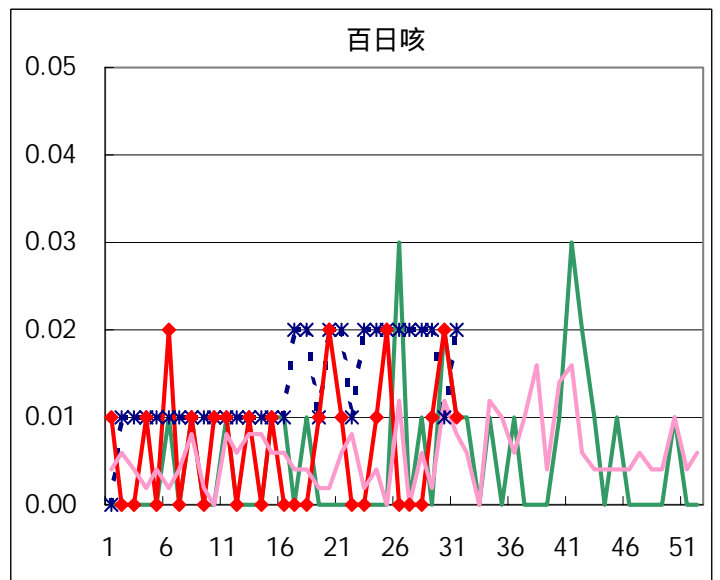
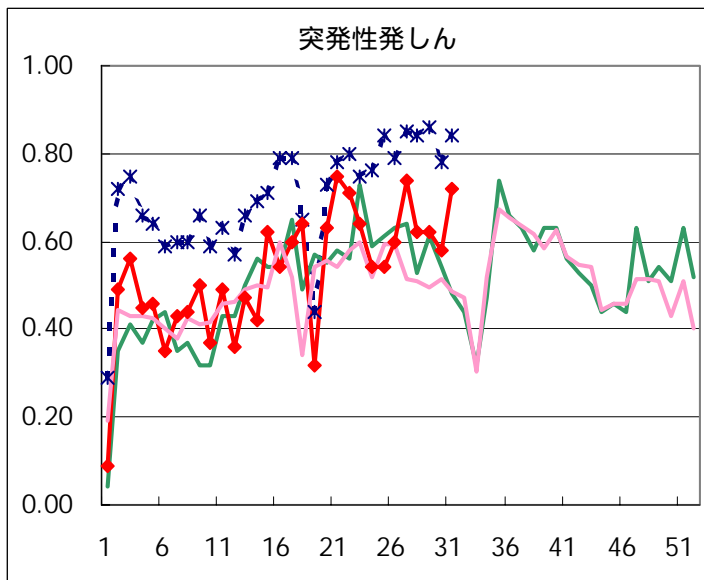
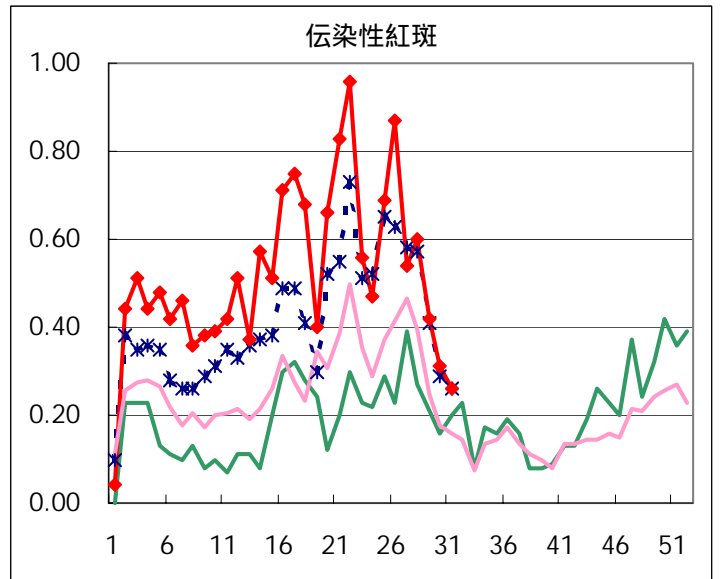
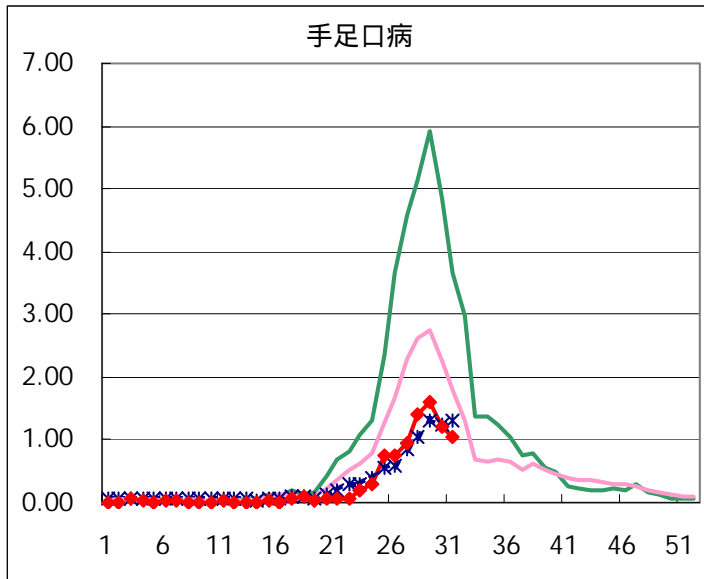
五類定点患者報告数（男女別）

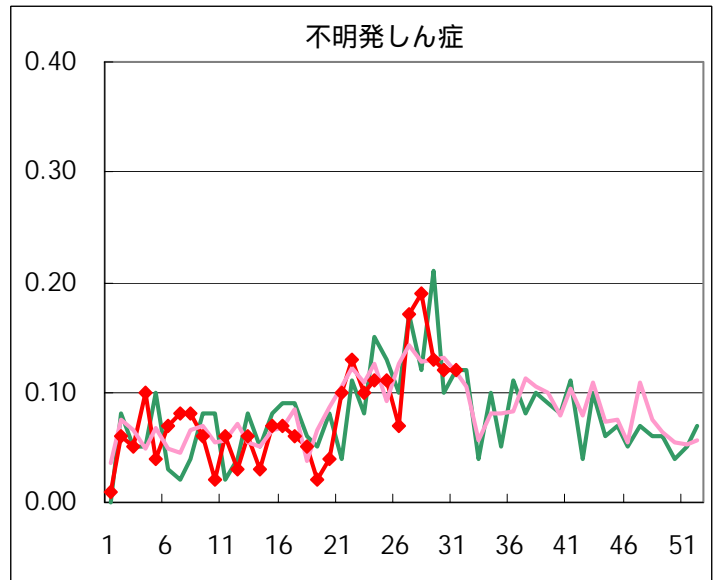
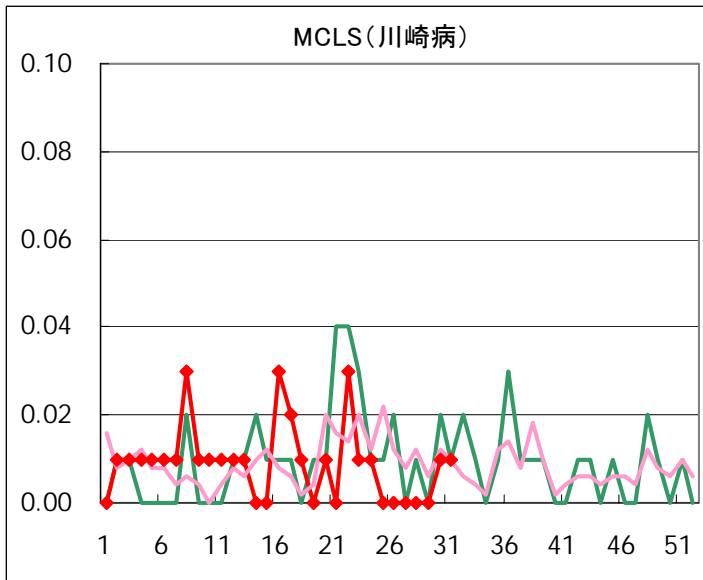
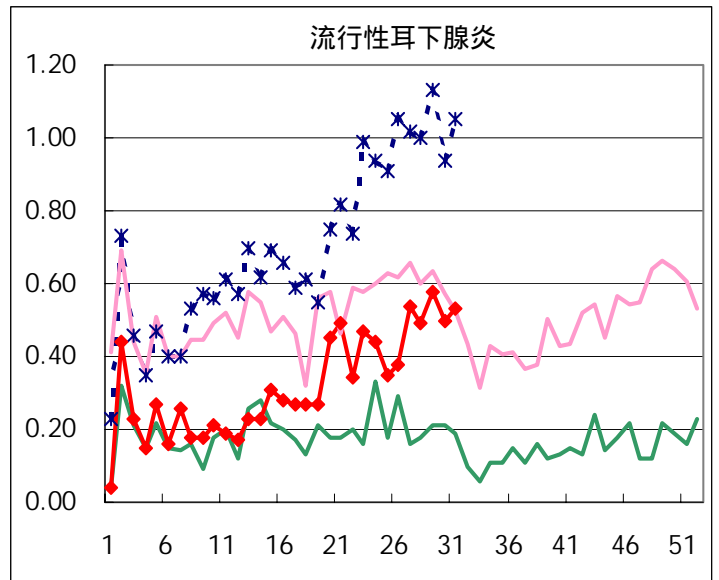
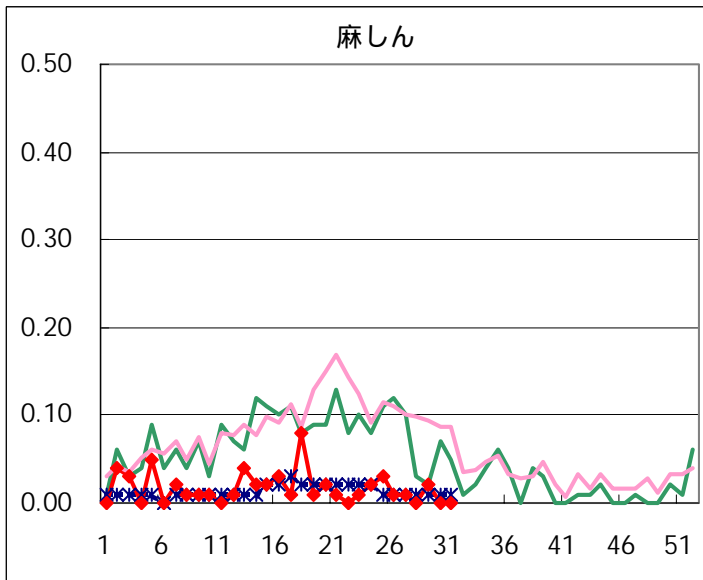
疾病名	性	2004年				4週合計	年累計
		28	29	30	31		
RSウイルス感染症	男	1	2	2	5	10	108
	女	4	2	4	2	12	84
インフルエンザ	男						9,163
	女						9,022
咽頭結膜熱	男	79	88	86	59	312	823
	女	75	85	61	46	267	702
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	54	41	30	29	154	2,329
	女	46	34	29	16	125	2,021
感染性胃腸炎	男	209	171	171	179	730	11,915
	女	197	141	135	162	635	11,150
水痘	男	55	26	39	33	153	2,476
	女	34	34	24	28	120	2,138
手足口病	男	116	121	94	81	412	688
	女	83	107	79	68	337	569
伝染性紅斑	男	41	34	22	17	114	1,095
	女	44	25	22	20	111	1,182
突発性発しん	男	41	40	43	56	180	1,189
	女	47	48	39	46	180	1,129
百日咳	男		1	2	1	4	15
	女		1	1		2	11
風しん	男	4	1	1		6	114
	女	2	1			3	90
ヘルパンギーナ	男	398	449	292	185	1,324	2,236
	女	386	450	256	171	1,263	2,097
麻しん(成人以外)	男		3			3	33
	女						31
流行性耳下腺炎	男	39	52	47	40	178	794
	女	30	30	24	35	119	614
不明発疹症	男	10	10	12	9	41	175
	女	17	8	5	8	38	164
MC L S	男				1	1	17
	女			1	1	2	20
急性出血性結膜炎	男						2
	女						3
流行性角結膜炎	男	11	10	8	11	40	241
	女	3	6	1	6	16	210
細菌性髄膜炎	男						6
	女						2
無菌性髄膜炎	男						8
	女	1		2		3	15
マイコプラズマ肺炎	男	2	3	1		6	39
	女	4		2		6	38
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男						1
	女						2
成人麻しん	男	1				1	6
	女	2			1	3	4

疾病別グラフ(五類定点週報告分)

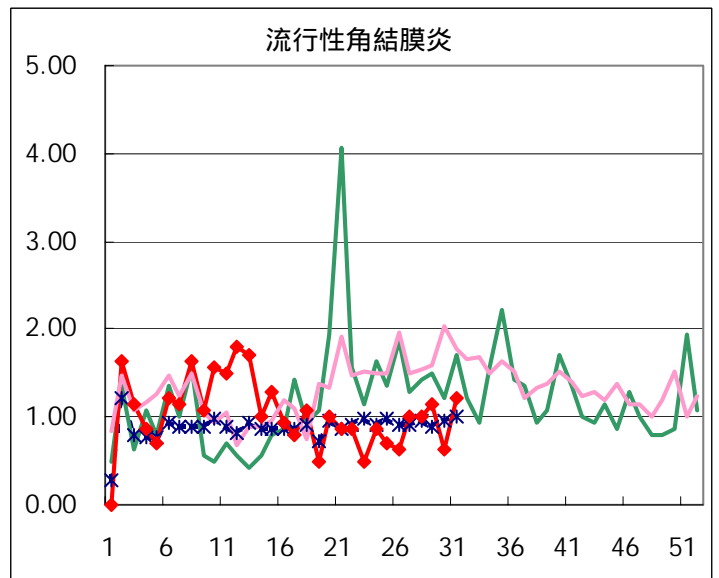
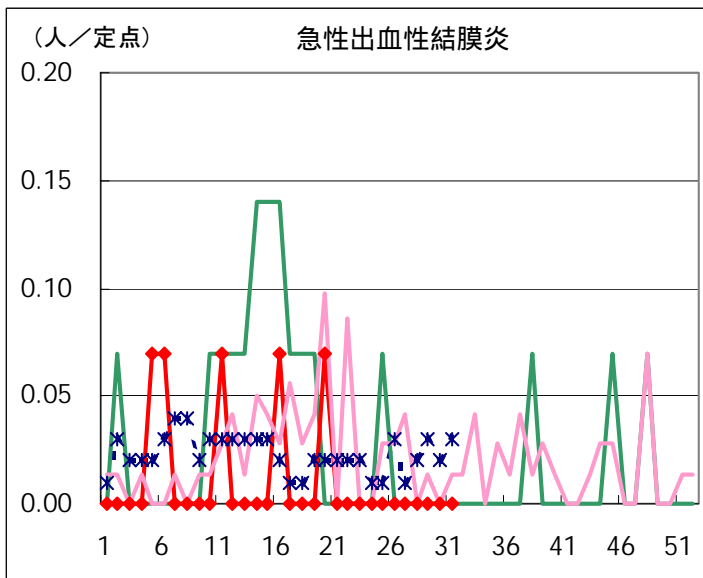
◆ 小児科・インフルエンザ定点



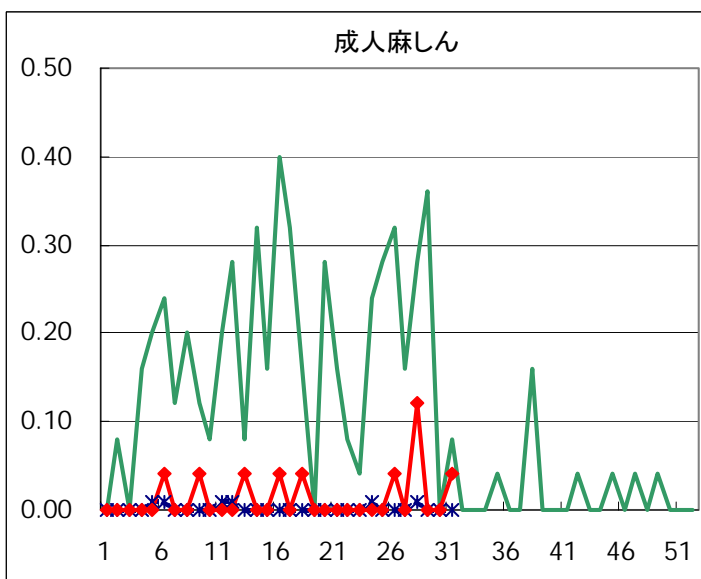
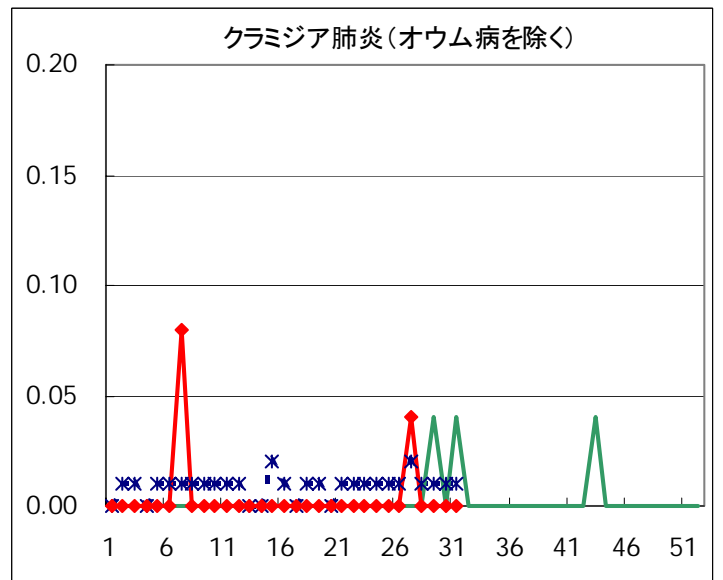
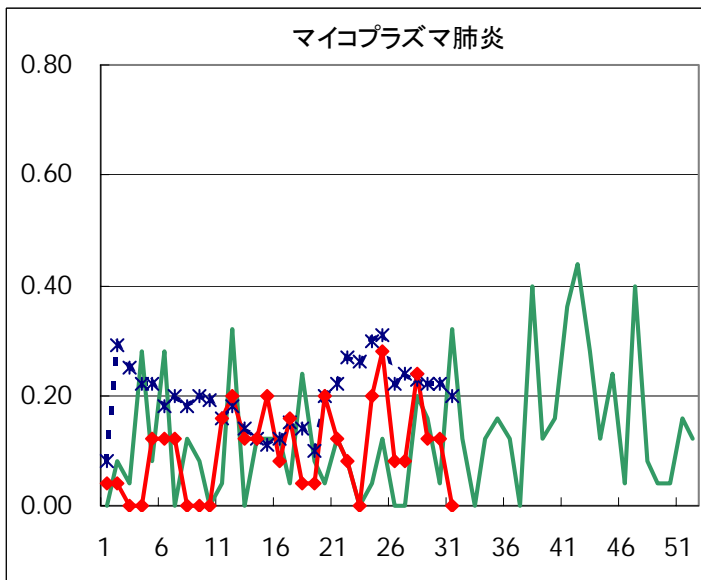
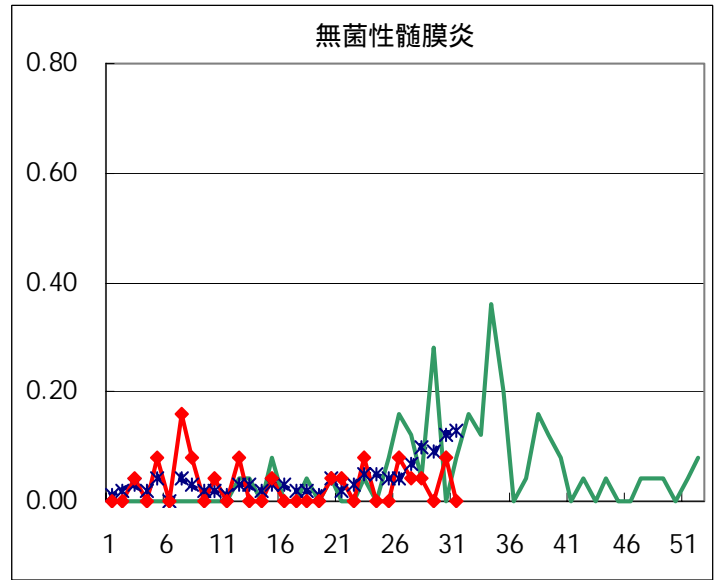
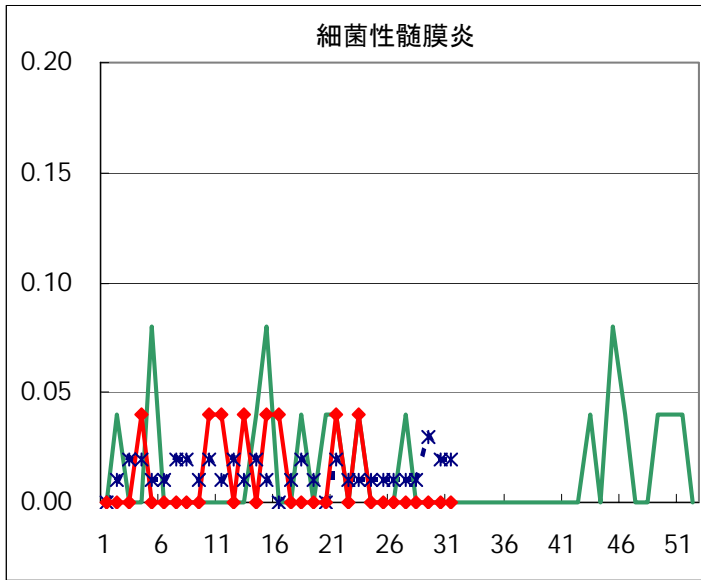




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	細菌性髄膜炎	25
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻疹	
小児科	上記を除く疾病	142

病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2004年24週～31週)

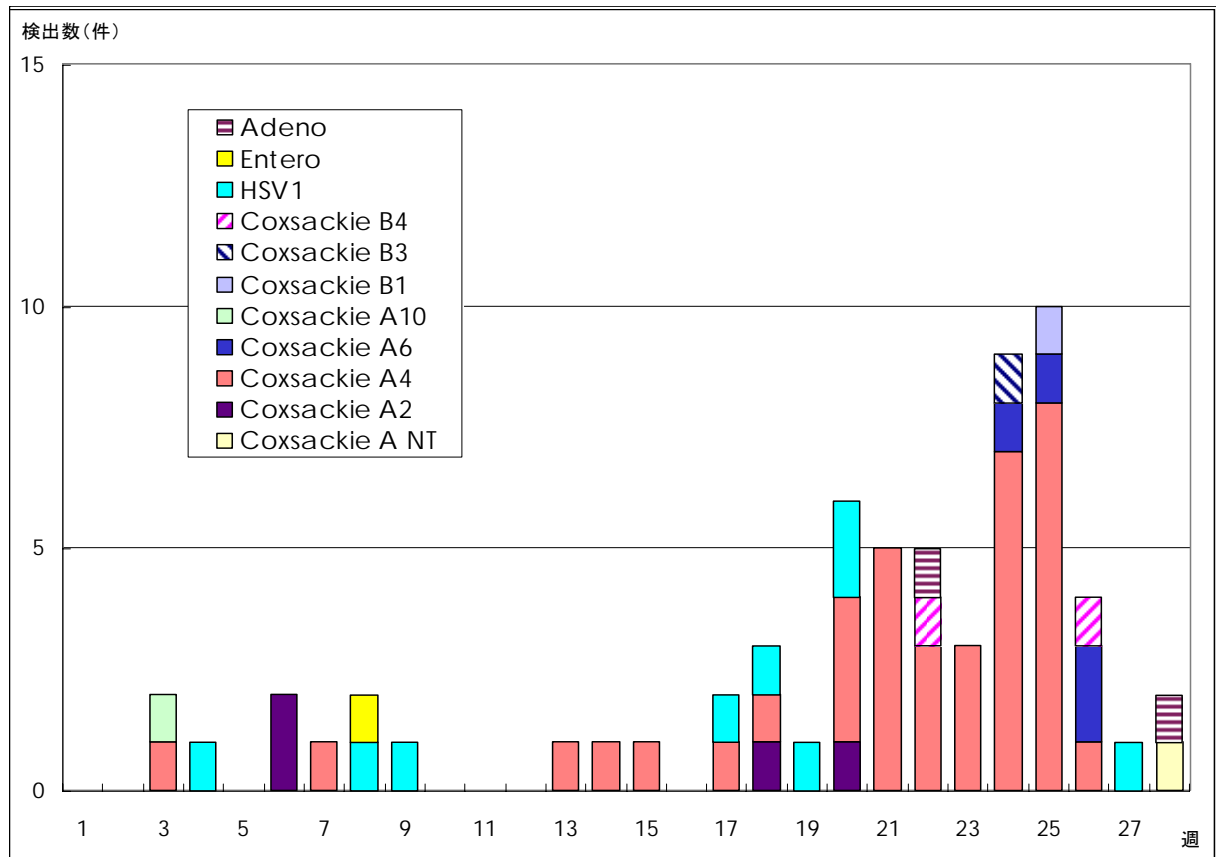
検出病原体・抗体		検体採取週								合計	
		2004年									
		24	25	26	27	28	29	30	31		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型										
	インフルエンザB型										
	RSV										
	アデノ	4	5	3	1	6		4	8	31	
	エンテロ		2	7	5	7	7	8	2	38	
	ノロ	20		15		2			20	57	
	ロタ										
	単純ヘルペス										
	水痘・帯状疱疹										
	EBV							1	3	4	
	CMV										
	HHV6/7	1	1	1	1	5	4	2		15	
	ムンプス										
	麻疹										
	パルボB19		1							1	
	分離型別・遺伝子型別	ポリオ1									
		ポリオ2									
		アデノ1									
		アデノ2			1						1
		アデノ3	1								1
		エコー13									
		エンテロ71	1		2						3
コクサッキーA6											
ライノ		2	2			2				6	
抗体	デング						1		1	2	
	ツツガムシ										
細菌	カンピロバクター	1								1	
	サルモネラ										
	下痢原性大腸菌							2		2	
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグラウゼⅠ型						1			1	
	MRSAコアグラウゼⅡ型		2		4	5			3	14	
	MRSAコアグラウゼⅢ型		1		1	1		1		4	
	MSSAコアグラウゼⅤ型										
	溶連菌T-1型	1								1	
	溶連菌T-3型				1					1	
	溶連菌T-4型		2		4					6	
	溶連菌T-6型		1							1	
	溶連菌T-12型	1	3		5					9	
	溶連菌T-22型										
	溶連菌T-25型							1	1	2	
溶連菌T-28型				1					1		
溶連菌UT											
性感染症	梅毒			1	1	1	3			6	
	クラミジア抗体	13	38	6	29	4	38	9	16	153	
	クラミジア遺伝子		1		1		2	1		5	
	淋菌遺伝子		1							1	
	パピローマ	3	3	1		3	7	3	1	21	

臨床診断名別病原体検出結果（2004年24週～31週）

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (インフルエンザを含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型																	
インフルエンザB型																	
RSV																	
アデノ		7	4	1		6	2	1	1		2	2				5	31
アデノ1																	
アデノ2						1											1
アデノ3		1															1
エンテロ		7	2	1			7	3	4	4		4				6	38
エコー13																	
コクサッキーA6																	
ポリオ1																	
ポリオ2																	
ムンプス																	
ノロ						57											57
ロタ																	
単純ヘルペス																	
水痘・带状疱疹しん																	
パルボB19												1					1
カンピロバクター						1											1
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌						2											2

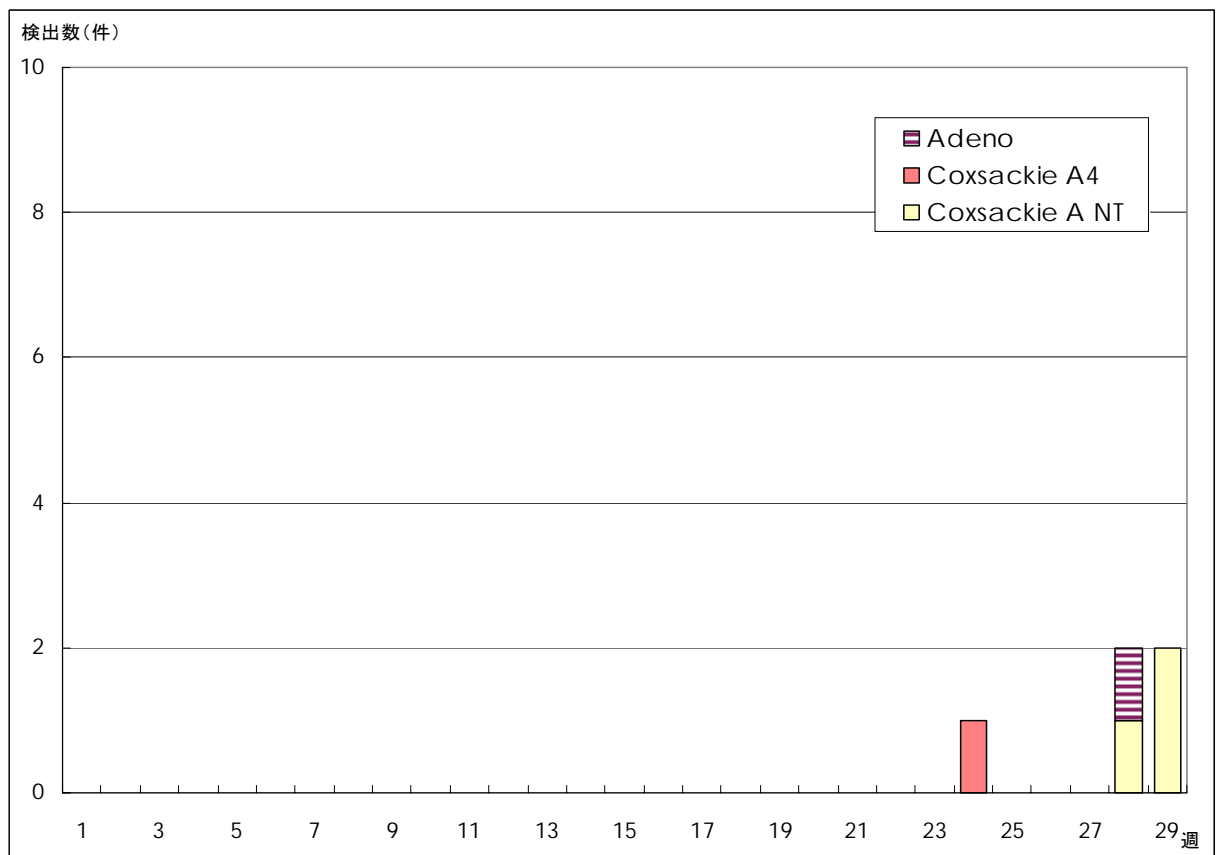
病原体グラフ (ヘルパンギーナ)

ヘルパンギーナ患者から検出されたウイルス (全国)



LASR 病原微生物検出情報 (2004年7月23日現在報告数)

ヘルパンギーナ患者から検出されたウイルス (東京都)



微生物部ウイルス研究科

年齢階級別報告数 2004年 31週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月	1						1		6
～1歳			2		19	4	10		59
1歳	1		14		40	4	24	3	34
2歳	1		13	3	25	11	34	1	2
3歳	3		18	9	33	13	23	4	
4歳			15	5	38	10	18	8	
5歳	1		14	4	25	7	9	11	
6歳			7	7	23	6	14	4	
7歳			8	6	26	3	7	1	
8歳			6	2	9	1	3	1	
9歳				1	10		2		
10～14歳			4	2	28	1	2	2	
15～19歳			2	1	9				
20～29歳			2	5	56	1	2	2	1
30～39歳									
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	7	-	105	45	341	61	149	37	102
先週比	1	0	-42	-14	35	-2	-24	-7	20

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月	1		1					1	
～1歳			36					2	
1歳			83		5			4	
2歳			79		5			5	2
3歳			65		9				
4歳			31		15			1	
5歳			27		12		1	1	
6歳			8		11			1	
7歳			12		7				
8歳			3		2				
9歳			5		1		2	1	
10～14歳			4		3				
15～19歳							1		
20～29歳			2		5		4	1	
30～39歳							3		
40～49歳							3		
50～59歳							1		
60～69歳							1		
70～79歳							1		
80歳以上									
合計	1	-	356	-	75	-	17	17	2
先週比	-2	-1	-192	0	4	0	8	0	1

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別報告数 2004年 31週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	1					1		2	1	
中央区				1	13	1			4	1
みなと	3		12	6	7		5	4	5	
新宿区					19	2	1		2	
文京			2		9					
台東				1	8		3		8	
墨田区	2			1	4	1	7	3	1	
江東区				5	12	2	5	1		
品川区			2	1	7	3	1		2	
目黒区					3		3	4	3	
大田区			19	5	25	4	13	1	7	
世田谷区			4	1	24	4	3		4	
渋谷区			1		14		2		3	
中野区			3	5	28	3		2	1	
杉並			6	2	17	4	1	3	2	
池袋						1	1			
北区			10	1	6		22	1	11	
荒川区					6	1			2	
板橋区			2	1	1			3	3	
練馬区			2	2	15	2	2		9	
足立			2	2	17	2	2	1	3	
葛飾			7		5	8	26	2	2	
江戸川			10	3	11	1	20		7	
西多摩			4		16	2	1	3	2	
八王子				1	2	4			1	
南多摩				1	8	1		1	4	
町田	1			2	17	2	29	4	6	
多摩立川			4	1	15	6				
多摩府中			3	2	12	1		2	3	
多摩小平			11	1	20	4	1		6	
島しょ			1			1	1			

東京都合計	7	-	105	45	341	61	149	37	102	1
定点当り報告数	0.05	-	0.74	0.32	2.40	0.43	1.05	0.26	0.72	0.01

保健所別報告数 2004年 31週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田				2					7
中央区		7							27
みなと		3				1	2		48
新宿区		4				4	2		34
文京		8		2		3			24
台東		20							40
墨田区		7							26
江東区		16				1			42
品川区		16		6			1		39
目黒区		7							20
大田区		32		6					112
世田谷区		14		10			2		66
渋谷区		10		2					32
中野区		20		1					63
杉並		10		2					47
池袋		7		2					11
北区		15		2					68
荒川区		3		7		5	1		25
板橋区		2		1					13
練馬区		12		3			5		52
足立		4		5					38
葛飾		14		2			1		67
江戸川		25					1		78
西多摩		10							38
八王子		11		1		1			21
南多摩		10		6					31
町田		21		4				2	88
多摩立川		6		6		2			40
多摩府中		11		2					36
多摩小平		31		3			2		79
島しょ									3

東京都合計	-	356	-	75	-	17	17	2	1315
定点当り報告数	-	2.51	-	0.53	-	1.21	0.12	0.01	

保健所別報告数(定点当たり) 2004年31週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	0.25					0.25		0.50	0.25	
中央区				0.33	4.33	0.33			1.33	0.33
みなと	0.50		2.00	1.00	1.17		0.83	0.67	0.83	
新宿区					3.17	0.33	0.17		0.33	
文京			0.67		3.00					
台東				0.33	2.67		1.00		2.67	
墨田区	0.67			0.33	1.33	0.33	2.33	1.00	0.33	
江東区				1.67	4.00	0.67	1.67	0.33		
品川区			0.33	0.17	1.17	0.50	0.17		0.33	
目黒区					1.00		1.00	1.33	1.00	
大田区			2.11	0.56	2.78	0.44	1.44	0.11	0.78	
世田谷区			0.50	0.13	3.00	0.50	0.38		0.50	
渋谷区			0.25		3.50		0.50		0.75	
中野区			0.50	0.83	4.67	0.50		0.33	0.17	
杉並			1.00	0.33	2.83	0.67	0.17	0.50	0.33	
池袋						0.20	0.20			
北区			2.50	0.25	1.50		5.50	0.25	2.75	
荒川区					3.00	0.50			1.00	
板橋区			0.33	0.17	0.17			0.50	0.50	
練馬区			0.40	0.40	3.00	0.40	0.40		1.80	
足立			0.50	0.50	4.25	0.50	0.50	0.25	0.75	
葛飾			1.75		1.25	2.00	6.50	0.50	0.50	
江戸川			2.50	0.75	2.75	0.25	5.00		1.75	
西多摩			0.80		3.20	0.40	0.20	0.60	0.40	
八王子				0.50	1.00	2.00			0.50	
南多摩				0.33	2.67	0.33		0.33	1.33	
町田	0.50			1.00	8.50	1.00	14.50	2.00	3.00	
多摩立川			0.67	0.17	2.50	1.00				
多摩府中			0.30	0.20	1.20	0.10		0.20	0.30	
多摩小平			1.83	0.17	3.33	0.67	0.17		1.00	
島しょ			1.00			1.00	1.00			

東京都合計	7	-	105	45	341	61	149	37	102	1
定点当り報告数	0.05	-	0.74	0.32	2.40	0.43	1.05	0.26	0.72	0.01

保健所別報告数(定点当たり) 2004年31週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田				0.50				
中央区		2.33						
みなと		0.50				1.00	0.33	
新宿区		0.67				2.00	0.33	
文京		2.67		0.67		3.00		
台東		6.67						
墨田区		2.33						
江東区		5.33				1.00		
品川区		2.67		1.00			0.17	
目黒区		2.33						
大田区		3.56		0.67				
世田谷区		1.75		1.25			0.25	
渋谷区		2.50		0.50				
中野区		3.33		0.17				
杉並		1.67		0.33				
池袋		1.40		0.40				
北区		3.75		0.50				
荒川区		1.50		3.50		5.00	0.50	
板橋区		0.33		0.17				
練馬区		2.40		0.60			1.00	
足立		1.00		1.25				
葛飾		3.50		0.50			0.25	
江戸川		6.25					0.25	
西多摩		2.00						
八王子		5.50		0.50		1.00		
南多摩		3.33		2.00				
町田		10.50		2.00				1.00
多摩立川		1.00		1.00		2.00		
多摩府中		1.10		0.20				
多摩小平		5.17		0.50			0.33	
島しょ								

東京都合計	-	356	-	75	-	17	17	2
定点当り報告数	-	2.51	-	0.53	-	1.21	0.12	0.01

ポリオの不活化ワクチン

ポリオはピコルナウイルス科エンテロウイルス属のポリオウイルスによって発症する。ウイルスには1、2、3型がある。経口感染し咽頭、腸管の上皮細胞で増殖後、リンパ組織を経由して血中に入り、中枢神経系に侵入し、脊髄前核の運動神経系細胞に感染する。

通常は不顕性感染に終わることが多く、麻痺型ポリオを発症する頻度は0.1～2%程度である。日本を含むWHO西太平洋地域では2000年10月にポリオ根絶宣言がなされた。しかし現在もインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアなどでは、野生株ポリオウイルスによる患者発生が認められている。診断には急性期の糞便、髄液からのウイルス分離、抗体価の有意上昇が用いられ、鑑別診断にはギランバレー症候群や横断性脊髄炎などが挙げられる。

ポリオは発症すると治療法がないため、ワクチンでの予防が重要である。現在、わが国では生ポリオワクチン（OPV）が定期接種として生後3～90ヵ月未満の小児に接種されているが、400万接種に1例の割合でワクチン関連麻痺が認められ、OPV接種者から周囲に感染した事例も530万接種に1例の頻度で認められると言われている。野生株ポリオが根絶された国においては、不活化ポリオワクチン（IPV）の導入が始まっており、わが国でもその導入が検討されている。但し、OPVが日本では経口2回接種であるのに対し、米国の例をあげると、IPVは4回の皮下注射である。OPVの効果は極めて高いものであるが、野生株ポリオが根絶された状況下では、IPVへの変更が考慮される。

（文責・多屋 馨子）